

なんこく 市議会だより



1月6日新春出初め式(文化の森市民の広場)

平成23年

2月

今号の主な内容

- P 2
《12月定例市議会(第350回)》
 - ・24議案を可決・同意
 - ・議員発議の意見書等2件を可決《11月臨時市議会(第348回・349回)》
- P 3
《主な可決議案》
 - ・21年度一般会計補正予算
 - ・南国市立スポーツ施設条例の一部改正
 - ・職員の退職手当に関する条例の一部改正
 - ・課の設置に関する条例の一部改正《21年度決算》
 - ・一般会計・特別会計

- P 4~10
《一般質問》12名の議員が登壇
西原、土居、徳久、村田、今西、前田、岡崎、有沢、浜田(和)、西山、福田、浜田(勉)
- P 10
《各常任委員会、議会運営委員会の新委員決定》
- P 11
《議決結果一覧》
- P 12
《なんこく再発見⑫》
 - ・シャモ鍋《議会日誌》
 - ・10~12月の市議会の動き
 - 《編集後記》

第350回

12月定例市議会

6億5千万円の増額補正予算を可決

子宮頸がんワクチン予防接種、コンピュータ教育を推進



12月定例市議会は、12月3日から15日までの13日間の会期で開かれました。本定例会では、市長提出の議案24件と報告1件、議員発議の意見書4件を審議。平成22年度一般会計補正予算など24議案を可決・同意し、意見書2件を可決しました。また、9月議会より継続審査に付していた決算議案11件を認定し、陳情1件の取り下げ願いを承認しました。

12月定例会初日、9月議会で継続審査となっていた決算議案11件と陳情1件の審査結果について、各常任委員長より報告があり、全会一致で認定、承認した後、任期満了に伴う常任委員及び議会運営委員の選任を行いました。(10ページ参照)

10日には、提出された25議案に対する質疑が行われ、その後、人事案件2件を採決し、残余議案を所管の常任委員会に付託しました。13日には、各常任委員会で付託議案が審査されました。最終日は、各常任委員長の報告、採決が行われ、22議案がいずれも原案のとおり可決されました。また、同日に任期満了に伴う選挙管理委員及び補充員の選挙が行われました。(11ページ参照)

◆臨時市議会◆ (11/8、11/26)

11月8日に臨時市議会が開かれ、市の農業委員会委員の推薦が行われました。また、同月26日の臨時市議会では、高知県人事委員会の給与勧告に基づく県職員の給与改定に伴い、議員・市長・副市長・教育長・の期末手当、一般職の職員の給与及び期末・勤勉手当を減額する条例が可決されました。

- 改正内容
- ◇議員・市長・副市長・教育長……期末手当を年間で0.15カ月分減額
 - ◇一般職の職員……給料月額を約0.17%減額、期末・勤勉手当を0.2カ月分減額

◆主な可決議案◆

(議決結果は11ページ)

議案第1号

一般会計補正予算

補正予算規模は6億5千324万4千円の増額計上です。

主な内容は、退職手当、障害者自立支援事業費、生活保護扶助費、保健衛生予防費、林業振興一般管理費、防災費、小学校コンピュータ教育事業費の増額などです。

- ▽民生費関係：障害者自立支援事業費、被保護者増に伴う生活保護扶助費
- ▽衛生費関係：子宮頸がん等の予防接種委託料、JA高知病院運営助成金
- ▽農林水産業費関係：木質ペレットボイラー購入費、チップボイラー施設整備に係る木材加

工流通施設整備事業費補助金

▽土木費関係：市営住宅改修等の住宅管理費

▽消防費関係：津波避難施設整備工事費

▽教育費関係：情報通信技術地域人材育成・活用事業委託料、スクールバス購入費

▽災害復旧費関係：10月の豪雨による農業用施設災害復旧事業費

議案第12号

南国市立スポーツ施設

条例の一部改正
南国市立大湊クラブハウスを放課後児童クラブとして使用できるように、施設の利用変更をするために条例の一部を改正するものです。



みなと学童クラブ開所式

議案第14号

職員の退職手当に関する条例の一部改正

退職後に懲戒免職等処分を受けるべき行為をした者に退職手当の全部または一部を返納させる制度と退職手当支給について新たな制限を設けるものです。

議案第15号

課の設置に関する条例の一部改正

平成23年度の機構改革で、商工水産課で所管していた水産部門が農林課に移管されます。これにより、課の名称を商工観光課及び農林水産課に改められます。



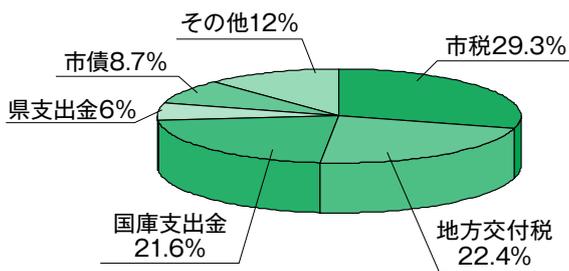
2つの課の名前が変わります

21年度会計決算(一般・特別・水道事業)

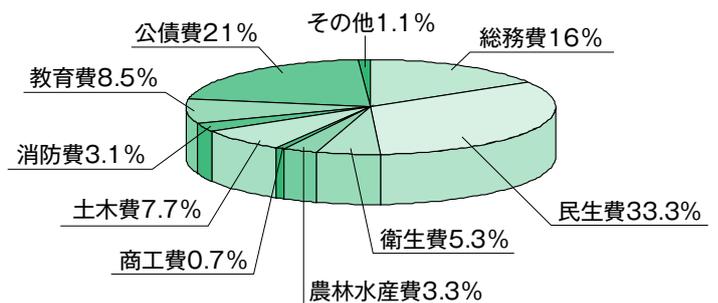
21年度は1億1,355万円の黒字(一般会計)。6,267万円を22年度に繰り越しへ。

◇一般会計決算

歳入総額 210億8,523万円



歳出総額 209億7,168万円



◇特別会計決算

	下水道事業	老人保健	住宅新築資金等貸付事業	土地取得事業	農業集落排水事業	国民健康保険	介護保険	企業団地造成事業	後期高齢者医療保険
歳入	9億682万円	5,195万円	1億3,812万円	3,502万円	1億5,713万円	58億4,268万円	37億9,459万円	1億4,295万円	5億4,725万円
歳出	9億526万円	4,976万円	1億3,228万円	0円	1億5,713万円	58億4,268万円	37億1,128万円	1億4,285万円	5億2,415万円

◇水道事業会計決算

・収益的収支

収入	6億1,680万円
支出	5億4,887万円

・資本的収支

収入	1億1,808万円
支出	3億4,970万円

※資本的支出に対して不足する額、2億3,162万円は、建設改良積立金、消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補てんします。

執行部に問う

一般質問

12月議会では12名の議員が一般質問を行いました。



問われる今後のまちづくり

定住自立圏構想

徳久 衛

問 高知市を中心市に、南国市・香南市・香美市を周辺市にした定住自立圏共生ビジョンが策定されました。今後の取り組みの中で特に力を入れるべきだと考えます。中心市である高知市に周辺3市の観光の情報発信基地になってもらうべきでは。

答 本市の観光は、西島園芸団地などの一部は積極的に行っていましたが、全体としては積極的に全国へ情報発信して観光客に来てもらう仕組みがありませんでした。現在作成中の観光計画の中でも、今後の観光の方針、情報発信の整備、観光推進体制の整備を明確にして、4市連携のもとに本市に観光客に来てもらう仕組みづくりを行っています。

定住自立圏構想

前田学浩

問 策定された共生ビジョンの中に、情報産業の

振興が含まれていません。近年唯一の成長産業であり、将来若者の雇用も見込まれるであろう情報産業の振興がなぜないのでしょうか。また、市における情報産業振興の担当はどのセクションなのかお伺いします。

答 オフィスパークセンターで情報産業ビジネスに向けてこれから発信をしていこう、ぜひ使っていただくということですが、やはり情報産業に対する我々の取り組みはおくれています。製造業などに比べて情報ビジネスは、この日本全体の中で地理的不利な部分はまだ関係ない分野ですので、これから大いに取り組ませていただきたいと思っています。

◆主な質問項目◆ (質問順)

1 西原勝江

- ① 市政を語る会・今後の取り組み
- ② 「わが街事典」の作成
- ③ 地域福祉支援体制・「地域福祉計画」の策定・介護保険制度の改革
- ④ 健康対策(特定健診の測定項目・子宮頸がんワクチン等)

2 土居篤男

- ① 定住自立圏構想とT P Pの影響
- ② T P P参加で農業・産業への影響
- ③ 臨時財政対策債が増え続けているが、問題ではないか。

3 徳久 衛

- ① 南国市立後免町公民館の建て替え(中心市街地活性化のために)
- ② 定住自立圏構想(取組の要は観光に)
- ③ 南国市スポーツセンターの有効利用(観光につながる取り組みを)

4 村田敦子

- ① 特認校(奈路小学校・白木谷小学校)のスクールバス
- ② 小中連携学力向上の取り組み
- ③ 介護保険制度の介護度認定、判定基準変更後の市の状況
- ④ 廃棄物処理業者への指導管理

5 今西忠良

- ① 税収入の推移と収納対策
- ② 行政事務事業評価の現状と今後の対策
- ③ 学校教育における情報化とデジタル教科書
- ④ Q U心理テスト(学級満足度尺度)

6 前田学浩

- ① 定住自立圏構想(進捗とその位置づけ・雇用の創出、特に情報産業への取組強化を)

高知広域都市計画

有沢芳郎

問 市街化調整区域を通る県道「あけぼの街道」と「空港インター線」の開通に合わせ、両道周辺を広域都市計画マスタープランに位置づけ、南国市がただの通過点にならないよう、県道周辺の一部を市街化区域にするか、地区計画を認める要望書を提出してはどうか。

答 市街化区域の線引き

の見直しについては、現在の都市計画法の中では、現行の市街化区域の住居系及び商業系用途地域内に、供給可能な住宅地や商業地が存在することか

ら、新たに市街化調整区域からの編入は計画できていません。

地区計画により行う市街化調整区域での相当規模の開発行為は、県が策定した地区計画の同意指針内容に適合する場合のみ許可されます。

現状では新たな幹線が開通しても、市街化調整区域である以上、開発行為の規制を受けますので、ご理解を賜りたいと思います。

公園・緑地について

浜田和子

問 緑地は地球温暖化に係る二酸化炭素の吸収源であり、クールアイランドの役目も果たす。篠原地区の区画整理において、また、高知南国線駅前線においても、住民要望を受け入れた内容で、設計段階から公園や街路樹、親水の間を検討し、配置していくことを求めている。

答 公園・緑地の設置については、区画整理事業の施工区域面積の3%以



公園・緑地の設置は確実に

上の規模の公園・緑地を設置することが義務づけられています。その配置や面積、箇所数については、安全、健康、利便、快適な市街地の実現を目標とし、他の公共公益施設との整合性を考慮して、特に土地利用に適合した街区の設計、水と緑のネットワーク、町のデザイン、防災空間機能等に配慮した事業計画案を策定し、都市環境の質の向上に努めたいと考えています。

公共事業について

西山八郎

問 工事の設計・発注をもう少し早くできないか。

工事期間が長すぎるが短縮できないか。幅員1m位の農道と水路を改修するのに、高さ50cm以上のよう壁ならば鉄筋を入れなければならないとなっているが、軽四も通らない所へ必要か。費用対効果を考えてみてはどうか。

答 工事期間については、県土木部の通達で、金額工種により工事日数が定められており、契約時の工期は、それにより設定されています。企業努力等により早期に完成すれば、完了届を提出していただき、その後、竣工検査を行い、事業の完了となりますので、すぐに道路等は開放して、市民に迷惑がかからないようにしたいと思っています。

水路と農道が並行している場合の水路改修時の鉄筋については、高さが50cmを超えると鉄筋が必要となりますが、部分的に3cm位オーバーするといった状況の場合は、無筋で施工しています。

② ICT教育について(12月補正の小学校コンピュータ事業)

7 岡崎純男

①認定子ども園(安心こども基金事業)を早急に実施を ②適正な公共工事の入札を求める ③義務教育の質の保証と向上を ④行政が縁結びを取り持つ「ご縁係」の設置を

8 有沢芳郎

①市街化調整区域を2つの県道が開通する予定だが、周辺地域の用途の変更は可能か
②公共下水道を見直すことができるか(生活排水処理施設の賢明な選択、浄化槽整備推進事業とは)

9 浜田和子

①市長の政治姿勢(3年間の総括)
②国保について ③公園・緑地について
④選挙の投票率について

10 西山八郎

①市長の政治姿勢(7つの公約の中の農業とブランド化の中の耕作放棄地の解消、遊休農地の利活用)
②公共事業について ③交通安全について

11 福田佐和子

①雇用と地域経済に結びつく仕事おこしについて
②介護保険料、利用料の軽減で安心な老後を
③保育制度改正について ④生活保護世帯の自立と支援を充実させるために職員の増員を

12 浜田 勉

①TPPは乗り遅れてはいけないものではなく、参加してはならないもの。日本の一次産業は壊滅、あらゆる分野で日本がなくなり、金がすべてになる。
②鳥インフルの影響と対応は。シヤモ鍋は。

あけぼの街道



執行部に問う

一般質問

12議員が執行部の所信をたず

後免町公民館

徳久 衛

問 南国市立後免町公民館は老朽化が著しく、建て替えの時期になっていると思われま

単なる公民館ではなく、例えば『やなせたかし絵本と漫画館』や、文化教室や発表会のできるような複合的・多目的施設にすべきだと考えますが、南国市の考えは。

答 公民館は地域コミュニティの中核的施設であり、そこに複合的な機



老朽化が進む後免町公民館

能が加わり、来館する人がふえることで相乗的に商店街のにぎわいが復活し、地域の活性化が一段と図られるという考えも大いにあると思います。

複合施設としての計画は、やなせたかしさん関連のものとタイアップする事業などで今後どのようなことが実現可能か、その内容や施設の規模等も考慮しながら慎重に検討したいと思えます。

現在公民館の建てかえについては、直接国の補助金等がないために、公共施設の建築に有利な別の交付金等の採択を受けて建設したいと考えています。

わが街事典の作成

西原勝江

問 市民と行政が共通認識をもてるよう、広報・各種定期発行情報誌・市勢要覧・ホームページがある。それに加えて行政サービスと地域情報を併せて盛り込み、官民が連携しての「わが街暮らしの便利帳」という内容の「わが街事典」を紙媒体で発行してはどうか。

答 わが街事典の発行については、暮らしの便利帳、暮らしのガイドブックというような名称で発行されているようですが、発行経費を地元企業の広告料で賄い、自治体負担せずにできるものかどうかです。

南国市のさまざまな特徴のある部分を伝える場合、南国市のことを知らない方が転入されてきた場合に非常に有効ではないかと考えていますので、前向きに検討したいと考えています。

行政が婚活の支援

岡崎純男

問 南国市の人口動態を見ると全国の傾向とほぼ同じで、男女とも未婚化・晩婚化による人口減や少子化が進んでいる。南国市はその対策として「男女の出会いの場」の創出などの支援はしていないか。また、継続的な支援をする係の設置はできないのか伺う。

答 出会いの場をつくるバスツアーの実施を計画しています。独身男女を対象として、史跡、シャモ鍋など本市をめぐる観光事業の一環として取り組むようにしており、根本的に出会いの創出に取り組む事業ではありませんが、イベント、観光と絡めれば、出会いの場の創出の一翼を担えるものと考えています。

専門的な係の設置については、人件費の抑制、職員数の削減に取り組んでいる状況の中で、係の設置はなかなか厳しい状況

交通渋滞の解消

西山八郎

問 J A高知病院西側を南進し国道55号線へ出る左折線は、十字路になったため非常に渋滞しましたが、信号調整かレーンの2車線化はできないか。農面道路ベナレスの十字路の信号は東西線よりも南北線の交通量が多いのに双方の信号時間が同じであるが改善できないか。

答 市内2地点の信号機については現地調査を行うとともに、南国警察署交通課とも改善方法を協議しました。

J A高知病院の西南の



交通渋滞解消の手だては

にあると考えています。

渋滞解消ですが、伊達野、室戸方面を2車線とすることは、交通量の実態からも無理があると思われま

す。今後の道路整備の進展にあわせて交通量調査を実施し、実態に即した信号機の運用を要望していきたいと考えています。

農免道路、ベナレス東の信号機については、再度交通量調査を依頼して、実態に即した信号時間となるように要望していきます。

地域で仕事おこし

福田佐和子

問 仕事がなく、収入も減って税も払えないとの声が多い。全国では地域経済と市の足腰を強くするために、住宅リフォーム助成制度(1県175自治体)、小規模工事登録制度(439自治体)を創設。市民ニーズと中小業者を支援し、雇用と仕事確保のために当市も実現を。

答 小規模工事の登録制度は関係部署が多岐にわたることなどもあり、先進地の事例を参考に研究

執行部に問う

一般質問

12議員が執行部の所信をたず

したいと考えています。

市内工事請負業者の工事請負比率を高め、建築業者の生活の安定を図るために、平成23年度からの耐震改修費補助事業の工事を市内請負業者に発注することを検討していきます。住宅リフォーム助成制度の必要性は理解していますが、現在は木造住宅の耐震化を図ることを第一としていますのでご理解をお願いします。

公共下水道見直し

有沢芳郎

問 下水道敷設等による約40億の借金を、一般会計等から繰り入れしながら20年以上かけて返済する予定だが、人口減や急激な景気悪化等を考慮せず計画を進めると、安心安全の行政サービスは維持できない。財政負担が軽い浄化槽の整備に方向転換できないか。

答 合併浄化槽は今や汚水処理性能で下水道と遜色がない水準にあり、コストは下水道に比べて安

く、浄化槽を普及すれば自治体の予算も大幅に圧縮できるという考え方が定着しつつあります。浄化槽には発生する汚泥の処分機能は備わって

おらず、自立した汚水処理システムではありませんが、住家が点在する地域には有効であり、市の負担軽減を考えると、浄化槽の活用が合理的な地域には、合併浄化槽設置事業の推進を図る処理計画を立ち上げたいと考えています。



合併浄化槽の普及推進を

TPP参加反対を

土居篤男

問 菅内閣は関税をゼロにするTPP参加に向け

協議を表明した。農水省は、食糧自給率40%から13%に急落し米の生産は90%減と発表した。高知県でもJAが、農業が壊滅するとし反対を表明した。南国市も農業・産業が打撃を受け、総合計画の前提が壊れるのでは。

答 TPPについては、全般的に国益が最初に来るかもわかりませんが、そのためにたくさんの方の産業が衰退し大打撃を受けることは、国全体のバランスの中からもあまりいい施策でないと考えます。全産業がバランスよく

振興して初めて働く者の立場が守られていきますので、そういう意味から市長会で主張すべきことはしていくように努力したいと思っています。

TPPは害毒だ

浜田 勉

問 アメリカはアジアでは軍事力だけとなり、経済的権威は失墜。その復権がTPP戦略。菅民主党はそれに手を染め、へ



つらう売国制と財界に命ぜられるままにマスコミを引き連れTPPを叫ぶ。第一次産業(農業・林業・水産業)の壊滅を知りながら。これをどう見る。

答 TPPの問題は、日本は特に貿易収支によって国益を得ている国である以上、経済、貿易は最重要課題であると思いますが、そこに農業も巻き込んだ、特に食料自給率の問題から考えた場合、現在でも十分でない食料自給率でありながら、農業をTPPの対象にするのは愚策ではないかと考えています。

臨時債増加問題

土居篤男

問 財源不足を解消するとして、臨時財政対策債の発行が続き、21年度末で40億8千400万円にもなり、市の借金の4分の1にもなる。このまま増え続ける可能性が十分考えられるが、大きな問題になるのではないか。

答 今後も臨時財政対策債のさらなる発行により、公債費が増加して歳出増加を招けば、税収の増えない限り国の補てん額も増加します。もし三位一体改革のときのように地方財政計画の歳出総額が抑制されると、地方財政は再び厳しい状況に陥る可能性も考えられます。こうした点を踏まえ、全国市長会では地方交付税の財源不足の解消を図るため、現行の臨時財政対策債により補てんする制度を抜本的に改め、地方交付税法定率の引き上げなどを行うことを国に要望しているところです。

執行部に問う

一般質問

12議員が執行部の所信をただす

南国市の小中連携

村田敦子

問 小中連携・小中一貫は、同種間の統廃合に比べ、保護者や地域の反対が起きにくいのが、国による教育内容の統制、学校・自治体間の競争強化、早期選別などを目的とし、財界の望む人材育成というねらいがある。9年間の系統的・継続的な教育を図る市教委の目的は。

答 小中連携教育の取り組みの成果としては、南国市小学生の各種学力調査の結果で、全国とほぼ同水準となってきたことや、小中学校間で具体的な取り組みの交流が進んできていることがあげられます。

南国市の小中連携教育については、これまでと同様、現行の施設、教育課程の範囲内で行う校舎分離型の連携教育の推進によって、義務教育9カ年の間に卒業後の進路をみずからの力で切り拓いていくことのできる学力、体力、気力をバランスよく身につけた生徒の育成を目指し取り組んでいきたいと思っております。

QU心理テスト

今西忠良

問 学級集団の状態や子ども一人一人の意欲、満足感など本音や心の中を把握する心理テストは、不登校や荒れの改善に生かされますが、一方では誤差の科学的、客観的な検証が問われます。結果のうのみは危険です。現在の取組状況と今後の課題

について伺います。

答 QU心理テストについては、昨年度の例を上げると、1回目を行った後、教員が人間関係づくりといった活動を取り入れた授業展開の工夫、個人面談を行うことで2回目の結果で改善傾向が見られたケースもあります。ただ、このQUテストを行っただけで学級、学校の状態がすべて改善されるわけではありません。子どものサインを詳細に分析し、具体的に何をしたいけばよいのかを考え、学校全体で取り組んでいくことが大切です。今後

も心の教育をさらに推進していきたいと考えています。

小学校ICT教育

前田学浩

問 今回のモデル事業を契機に、南国市で最先端の教育環境を整えましょう。情報化の遅れを取り戻し、豊かな教育を子どもたちに授けましょう。これは必ず、詰め込み暗記型の教育から、思考や創造、表現を重視する学習へと教育の中身にも良い変化をもたらします。

答 タブレットPC、電子黒板等によるミニテストを活用し、児童一人ひとりの基礎基本の定着をねらいとした授業あるいはタブレットPC、インタラクティブホワイトボードを活用し、教師と児童、児童同士がコミュニケーションを行う双方向的な授業等をイメージしています。

義務教育の向上を

岡崎純男

問 資源に恵まれない日本は、教育を通じた人材育成の充実が重要で、義務教育の質の向上に取り組む、子どもたちの優れた個性を伸ばすことが必要です。コンピュータを活用する授業や音楽の授業などに、専門教員を配置してはどうか。

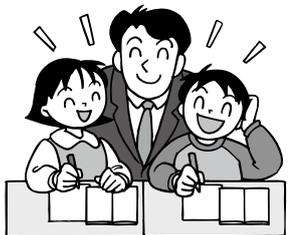
答 専門教員の配置は、中学校の教員が小学校へ異動し、音楽や理科を教える場合がありますが、一定の規模がないとできません。大篠小学校に音楽専科と理科専科、十市小学校に音楽専科の教員が配置されています。その他の小学校については、小学校の教員による専門性を生かした指導のケースがあります。

専門教員の配置のない学校では、例えば大型デジタルテレビ等のICT機器を活用して写真や動画、音声等の具体物の教材を使用するなど、児童の興味、関心を高める工夫もしています。

用語解説

■Q-U
(Questionnaire - Utilities)
子どもの学校生活での満足度がわかるアンケート形式の心理テスト。
テストにより子ども個人及び学級集団の状態をつかむことで、いじめの早期発見・予防、不登校・学級崩壊の予防に有効とされ、全国で実施する学校が増えています。

■ICT
(Information and Communication Technology)
情報通信技術。「IT」よりコミュニケーションを強調した表現で、国際的には「ICT」が定着しています。文科省や教育分野では情報コミュニケーション技術と訳され、教育現場ではICT機器の活用が進められています。



地域福祉計画

西原勝江

問 今、生活の利便性の向上に伴い、さまざまな変化が起きています。厳しい経済状況の中、多くの課題があります。すべての年代の人が安心して暮らせるために、新しい福祉制度が求められています。本市における「地域福祉計画」の策定についてお伺いします。

定準備を進めています。

平成23年1月に庁内関係課、福祉事務所、保健福祉センター、社会福祉協議会などの関係機関で準備会を開催し、平成23年4月より高齢者、要援護者についてのニーズ調査を実施して、各地域で座談会なども開催し、平成24年3月をめどに計画を策定していく予定です。

介護保険の軽減を

福田佐和子

答 本市では、県の地域福祉支援計画に基づいて社会福祉協議会と連携し組織づくりを行うべく策

問 苦勞して高い保険料を払っても必要な介護が受けられない、利用料が高すぎるなど導入後10年経た今も安心な老後となっていない。この状況を改善するため、介護の必要な高齢者の実態調査をし、保険料・利用料の軽減も含め、不安なく介護が受けられる市の取組を。

執行部に問う

一般質問

12議員が執行部の所信をたず

答 第5期事業計画を策定するに当たっては、地域における介護サービスやこれらに付随するニーズを的確に把握し、介護保険事業計画を作成する



必要があることから、平成23年度の早い時期にニーズ調査を行う予定です。この調査の中で、保険料や利用者負担に関する調査項目を入れることを検討したいと思います。

介護認定軽度化で

村田敦子

問 平成21年度の介護認定調査基準の変更に伴い、市でも介護から支援へと軽度認定される方が続出し、市の20年度から22年度9月の数字では、介護1〜3が1.7%減少、支援が1.6%増加です。秋に介護から支援となり先月に自死された方、うつ病となる方も。市の介護保障は。

選挙の投票率

浜田和子

答 介護保険制度でのサービス利用については、ケアマネジャーが本人の希望を聞き、自立支援の観点から必要なサービスを提供することになっていきます。個人別にさまざまなケースがあると思いますが、ケアマネジャーと相談の上、実際の要介護状態と認定された介護度に乖離があり、どうしても必要な介護サービスが受けられない場合には、介護度の区分変更申請をするので再度認定を受け直すこともできるので、ご理解をお願いします。

問 選挙の投票率は常に低い。投票の意志があっても投票に行けない方々は潜在している。郵送の対象外の障がいを持たれる方や、元氣であるが投票所まで歩いて行けない高齢者もいる。郵送の適応条件の緩和や、投票のための車を周遊させるなどの対応を図るべきだ。

税の収納対策

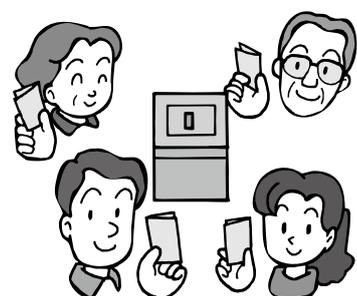
今西忠良

答 一部の有権者の投票支援は、選挙の平等、公平性を損なうおそれがあるとして、国も消極的な見解を出していましたが、投票所削減の加速を受けて、追認する姿勢に変わってきています。過疎化の問題への対応や経費削減の取り組みの中で、投票所の統廃合とあわせて、移動支援についても検討したいと考えています。

問 市税収入は一般財源の42・83%を占める貴重な自主財源です。地方税取確保のため、今後の市当局に求められるものは、住民目線での税制を進めることです。納税が義務ならば、公平性は確実に担保されなければなりません。今後の収納対策について伺います。

答 選挙管理委員会の全国組織では、郵便投票の対象者の範囲拡大などを国へ要望しています。今後、選挙管理委員会を初め、明るい選挙推進協議会等でも、効率的な取り組みができるよう検討していきたいと考えています。

答 税の収納対策は、税務課を先頭に努めています。一般財源の大きなウエイトを占める市税収入ですので、職員一丸となって頑張ると同時に、県西部のほうでは租税債権管理機構を立ち上げ、かりの実績を上げており、こういう機構は、広域的にやるほうが効果も上がるように聞いています。この租税債権管理機構も視野に入れて一層の努力をしていきたいと考えています。



執行部に問う

一般質問

12議員が執行部の所信をたず

シヤモ鍋は大丈夫？

浜田 勉

問 安来の鳥インフルは渡り鳥により感染した。治療より予防が大切。国分川の鴨や浜改田のナベツルのふん検査、防鳥網や消毒・消石灰の支援、飼養戸数・羽数の把握などの対応は。龍馬の次のスターのシヤモ鍋は地産地消。オンリーワンに影響は。安全安心の啓蒙を。

答 鳥インフルへの対応は、マニュアルでは、2次感染の知らせから各養



鳥インフルの影響は

鶏農家を巡回し、消毒などの注意喚起とともに関係者以外と接触させないように指導することになっていきます。支援については、網等については補助はなく、消毒と石灰については県が支給することになっていきます。

飼育の現状は、土佐ジローが2戸の3千150羽、採卵鶏が12戸、4万7千羽、シヤモが4戸の1千羽でしたが、現在はシヤモ鍋等に使われていますので、3分の2、2分の1の羽数になっているという事です。

シヤモ鍋については、市の名物料理となりつつあり経済効果も出ているところですが、日常管理については十分に行っていないかと思えます。

常任委員会、議会運営委員会の新しい委員が決まりました

◆総務常任委員会【任期1年、7名】

庶務、財務、税務並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

- ◎委員長／徳久 衛
- 副委員長／西原勝江
- ◇委員／中山研心、村田敦子、岡崎純男、浜田幸男、西岡照夫



総務常任委員会

◆産業建設常任委員会【任期1年、7名】

農林、商工水産、農業委員会、建設、土木、上下水道に関する事項

- ◎委員長／浜田 勉
- 副委員長／竹内克憲
- ◇委員／坂本孝幸、小笠原治幸、西山八郎、浜田和子、土居篤男



産業建設常任委員会

◆教育民生常任委員会【任期1年、7名】

民生、衛生、教育委員会に関する事項

- ◎委員長／前田学浩
- 副委員長／福田佐和子
- ◇委員／高芝 謙、有沢芳郎、野村新作、門脇 晃、今西忠良



教育民生常任委員会

◆議会運営委員会【任期1年、10名】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項

- ◎委員長／西岡照夫
- 副委員長／今西忠良
- ◇委員／前田学浩、徳久 衛、村田敦子、小笠原治幸、西原勝江、西山八郎、門脇 晃、土居篤男

会議録は閲覧できます

12月定例会市議会の会議録は、3月上旬以降、市ホームページ（<http://www.city.nankoku.kochi.jp>）、議会事務局（市役所5階）のほか、市立図書館で閲覧できます。

次回の定例会は3月4日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。お気軽にどうぞ。

議決結果一覧(11月臨時会・12月定例会)

■11月臨時会 (11/8)

◆推薦

1号・農業委員会委員の推薦……………推 薦

◆報告

1号・公営住宅明渡等請求訴訟の提起の専決処分の報告について……………報 告

◆議員提出議案

1号・日本農業、林業、漁業に壊滅的打撃を与え、食料等自給率向上とは両立しないT P P (環太平洋戦略的経済連携協定)への加入に反対する意見書(門脇晃議員ほか9名)……………賛成多数で可決

■11月臨時会 (11/26)

◆議案

1号・市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

2号・市長等に対する給与並びに旅費に関する条例及び南国市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

3号・一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例……………賛成多数で可決

■12月定例会 (12/3~15)

◆陳情(9月議会継続審査分)

1号・市有地の賃貸借契約解除について……………取り下げ

◆議案

《21年度決算》(9月議会継続審査分)……………全会一致で認定

1号・一般会計決算 2号・下水道事業特別会計決算 3号・老人保健特別会計決算 4号・住宅新築資金等貸付事業特別会計決算

5号・土地取得事業特別会計決算 6号・農業集落排水事業特別会計決算 7号・国民健康保険特別会計決算

8号・介護保険特別会計決算 9号・企業団地造成事業特別会計決算 10号・後期高齢者医療保険特別会計決算

11号・水道事業会計決算

《22年度補正予算》……………全会一致で可決

1号・一般会計補正予算 2号・下水道事業特別会計補正予算 3号・住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算

4号・農業集落排水事業特別会計補正予算 5号・国民健康保険特別会計補正予算 6号・介護保険特別会計補正予算

7号・企業団地造成事業特別会計補正予算 8号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算 9号・水道事業会計補正予算

《その他》

10号・火災予防条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

11号・消防手数料徴収条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

12号・南国市立スポーツ施設条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

13号・外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

14号・職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

15号・課の設置に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

16号・市道の認定について……………全会一致で可決

17号・債権の放棄について……………全会一致で可決

18号・市有財産の処分について……………全会一致で可決

19号・北陵中学校屋内運動場増改築工事(建築主体)請負契約の変更について……………全会一致で可決

20号・香長中学校校舎増改築工事(建築主体)請負契約の変更について……………全会一致で可決

21号・南国市地域情報通信基盤整備工事請負契約の変更について……………全会一致で可決

22号・上倉辺地に係る総合整備計画(第2次変更)について……………全会一致で可決

23号・南国市人権擁護委員の推薦について……………同 意

24号・南国市人権擁護委員の推薦について……………同 意

◆報告

1号・損害賠償の専決処分の報告について……………報 告

◆選挙

1号・選挙管理委員及び補充員の選挙について……………選 挙

◆議員提出議案

1号・燃油減免制度の継続を求める意見書(浜田勉議員ほか19名)……………全会一致で可決

2号・公共交通機関への支援を含む総合的な交通体系の構築を求める意見書(今西忠良議員ほか18名)……………賛成多数で可決

3号・保育制度改革に関する意見書(土居篤男議員ほか3名)……………賛成少数で否決

4号・高知県の図書館行政の充実につながる県立図書館の設立を求める意見書(福田佐和子議員ほか3名)……………賛成少数で否決

◆ 選挙管理委員・補充員 ◆

◇選挙管理委員…久岡賛七(岡豊町小蓮)、隅田道代(下野田)、竹村道雄(前浜)、岡田哲夫(里改田)

◇補充員…門田佐智子(植田)、水田敬二(大桶甲)、奥田昭弘(田村乙)、植野求(上末松)

10月	4日・市政連絡会
	6日・行政視察受入 (東京都墨田区／エコプラン・読書活動推進計画)
	8日・行政視察受入 (静岡県浜松市／食育)
	12日・行政視察受入 (千葉県君津市／いきいきサロン) ・市議会だより編集委員会
	12～13日・全国民間空港所在都市議会協議会臨時総会 (香川県高松市)
11月	14日・第2回倫理条例検討委員会
	22日・行政視察受入 (千葉県新座市／食育)
	25日・総務常任委員会
	1日・行政視察受入 (埼玉県狭山市／食育) ・市政連絡会
12月	2日・議会運営委員会
	3～15日・第350回市議会定例会
	15日・市議会だより編集委員会
	2日・産業建設常任委員会
	4日・行政視察受入 (岡山県笠岡市／議会運営)
	5日・教育民生常任委員会 ・広域行政圏市議会協議会 (東京)
	8日・第348回市議会臨時会 ・総務常任委員会
10日・行政視察受入 (大阪府くすのき広域連合／いきいきサロン)	
16日・第3回倫理条例検討委員会	
17～19日・高知縣市議会議長会研修	
18日・行政視察受入 (鳥取県米子市／環境)	
26日・第349回市議会臨時会	

議
会
日
誌

(10月)12月の議会の動き



なんこく再発見 12

シャモ鍋

坂本龍馬が刺客の刃に倒れ、食べ損なった好物のシャモ鍋。そのシャモで南国市を元気にしようと、南国市の農家や商工会有志らで結成したのが「ごめんシャモ研究会」です。飼育から取り組んだシャモ鍋は、昨年1月の全国鍋合戦に参戦し見事に優勝。昨年末からは市内の飲食店でもシャモ料理が提供され始めました。

他地域との差別化、まちおこしのため、料理には「ごめんケンカシャモ」の表記がなされ、鍋には南国市産の野菜を必ず一品以上使うこだわりよう。提供される料理は、店舗によって具材や味付けが異なり、それぞれ創意工夫がなされています。南国市限定のシャモ料理を一度味わってはいかがでしょうか。

シャモ料理が味わえる飲食店を紹介した「シャモ鍋マップ」



お問い合わせは、ごめんシャモ研究会 (064・3073) まで

※「変わる南国市」と「なんこく再発見」は毎回どちらかの掲載といたします。

編集後記

年末年始とも、大変冷え込んだ中で新しい年を迎えました。12月議会では常任委員会、議会運営委員会の委員も決まって新体制となり、議員任期最後の任務を果たすべく、新たな気持ちで取り組んでおります。

議会だよりには、定例会での議員の質問や提案などを、決められた字数でまとめて掲載しています。各々の個性が文章に表れており、読者の方々にはそれぞれの議員の顔が浮かぶことと思います。

市民の皆様と議会・議員をつなぐパイプ役の市議会だよりの一層の充実を目指して参ります。(村田)

◎市議会だより編集委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 西原勝江 |
| 副委員長 | 坂本孝幸 |
| 委員 | 前山研心 |
| 〃 | 村田学浩 |
| 〃 | 高田敦子 |
| 〃 | 高芝謙 |

◆「市議会だより」についてのご意見・ご要望がありましたらお寄せください。